

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

株式会社ウンノハウス

山形市にある株式会社ウンノハウスの大場雄太さん取材しました！
大場さんは、日本大学理工学部建築学科を卒業後、2011年に入社しました。
現在は、第2営業部で設計職係長として勤務しています。

(1) 仕事内容編

——はじめに、現在のお仕事内容を教えてください。

第二営業部で設計をしています。主な業務内容としては、住宅の設計業務です。

ひとくりに住宅の設計といってもいろいろな内容があるのですが、お客様との打合せが基本的にはメインとなります。

他の会社だと営業の担当者がいて、お客様から聞いた内容を営業担当が設計者の方に回すのが多いと思いますが、ウンノハウスでは設計担当が直接お客様にヒアリングを行って、プランニング（設計）します。そして設計担当がヒアリングした内容をもとに、「こういった建物を作ってみました」とお客様に提案、プレゼンテーションをします。その外観を含めた「基本設計」を気に入っていただけた時に契約をいただきます。そこから先は「実施設計」という形になり、水道や電気など細部に至るまで設計を行います。

お客様との打合せやプランの提案は土日がメインになり、平日はそのための社内業務をしています。



——営業と設計を同じ担当者一人で行っているということですか。



そうですね。実際にはお客様との最初の接点には営業担当者がいるんですが、そこから具体的に家づくりを検討されるようでしたら設計担当者が付くこととなります。営業担当者と設計担当者が二人でチームを組んで、お客様に提案をしていくという形ですね。設計担当者も設計だけではなく、接客が大きい仕事かなと思っています。

——注文住宅を建てる方はこだわりがあるのではと思いますが、ウンノハウスの良さはどういうところにあるんですか。

お客様のご要望に合わせていろいろ打合せをして、こだわりがある家を建てていきます。会社によっては、見れば「あの会社だな」とわかるようなテイストがあると思いますが、ウンノハウスではお客様に合わせて外観、内観を決めていくので、オンリーワンの家づくりをお客様と一緒に作るのが特徴です。

あとは最近だとInstagramとか SNS に情報があるので、こだわりをもって家づくりをしている方は増えているのかなと感じています。それにいろいろと対応してご提案ができるのはウンノハウスの強みかなと思います。標準が決まっていて対応できませんとか、そういうことはあまりないですね。

家を建てる時はどうぞご指名ください(笑)。

——大場さんが仕事をするうえで心がけていることは何ですか。

えーっと、いろいろありますね(笑)。

設計1人だけでは家は完成できません。営業担当者、施工担当者、実際作る大工さんといったチームでやっているの、コミュニケーションが大事ですね。図面は自分が思っていることを書けばいいわけじゃなく、誰が見てもわかりやすい説明になっているかなど、相手がどう感じるかを考えながら行っています。

——お客様ともコミュニケーションを取れていてすごいと思いました。最初からコミュニケーションが得意なほうだったんですか。

いや、そうでもないですよ(笑)。入社したときにはやっつけていけるか不安になっていたの。設計といえば、図面を事務所で作っているようなイメージだったので、「設計担当者がお客様と打合せするの？できるのかな」って思って(笑)。すぐくもがいていました。設計は経験を積みばどンドンうまくなっていくのですが、やっぱり対お客様というところで……。設計職で入ってそういうところが苦手だったので、すごく頑張ったって感じですよ。

——これまですごく難しい要望をされたことはありましたか。

最近だとInstagramを見ている方がほとんどで、難しいお客様ばかりです(笑)。標準で大丈夫という方もほとんどいなくて、細部にわたるまでこだわる方が増えているので、入

社した10年前と今は全然違いますね。

以前は図面だけ見て説明していましたが、今はパソコンで3Dをお見せしたり、VR（バーチャルリアリティ）を使用したりしています。VRはゴーグルをつけると本当にその設計した家にいるような体験ができます。大変ではありますが、お客様にとっては、いい方向になっているのかなと思います。



(2) 職場編

——ウノハウスに就職を決めた理由を詳しく教えてください。

私は山形県真室川町出身ですが、大学から東京に行って、東京で就職しようと思って就職活動をしていました。ですが、東京で働くイメージがつかずUターンを考えました。やっぱり地元の山形のほうが肌に合うというか、仕事がしやすいというか。あとは仕事だけじゃなくて、プライベートも充実して働けるんじゃないかというところですね。



ウノハウスに決めた理由は、山形で一番の実績があることですね。もともと住宅設計に絞っていたので、物件数が多いということはそれだけ自分へチャンスが多いと思いました。住宅設計には経験が必要だと思いますので、いろいろな経験ができると思いウノハウスに決めました。

——仕事をするうえでのやりがいは何ですか。



ウノハウスの設計の特徴はお客様と対面し、ご要望をうかがって、提案する点なので、お客様の喜ぶ顔が見られるのが一番です。自分の頭にあるものを図面に起こし、それを提案し、完成して喜んでもらうことは、多分パソコンに向かって図面を書いているだけでは、あまり得られないやりがいなのかなと思います。大変なことも多いですけど、その分やりがいを感じます。

——入社して良かったと感じることはありますか。



入社して良かったと感じるところはいろいろあります。「設計がそこまで打合せするんだ」という驚きは入社後にあったものの、就職活動のときに会社説明会で感じた「まじめでお客様思いの会社」という印象は変わりなかったので、それは良かったなと思います。

仕事がいやになる理由は人間関係が多いと思いますが、いい人が多くてストレスを感じないので、これも入社してよかったことですね。上からこうしなさいということはなく、若手のときから意見を吸い上げてくれることが多いので、自分の考えで行動させてくれる会社なのかなと感じています。

あとは働き方に関しても、有給や振休も取りやすくて、自分のペースに合わせて仕事ができるので、それがいいと思っています。

——入社されてからずっと住宅の設計に携わっているのですか。

そうです。入社してすぐにお客様の前に出て設計担当はできないので、私は最初の1年間は工法についての勉強や設計用ソフトの使い方など基本的な研修をしました。その後に営業部に配属になり、建売モデルなどを先輩と一緒に担当して経験を積んだあと、設計担当者としてお客様の前に出ました。大学卒業するとすぐ二級建築士の受験資格が得られるので、研修期間中にそういう資格を取ってからお客様の前に出たという経緯もあります。

ちなみに最近だと、新入社員は新入社員研修を三か月受けた後に配属となり、配属先のサポートを受けながら資格を取るという流れになっています。

——その資格を取るときに会社から支援はあるんですか。

建築士以外にもいろいろな資格があり、合格したら報奨金をもらえます。建築士は特に専門学校に通って合格を目指す人がほとんどなので、合格すれば学校に通う費用をもらえるという形です。設計と現場監督は会社の仕事をしつつ休みの日を使って学校に通います。設計職で入社しても資格を取らないと設計士でも何でもない人になっちゃうので(笑)、みんな頑張っています。



(3) 土日のある日の過ごし方編

●8:45 【出社】

娘を保育園に送ってから出社します。

●9:00 【業務開始】

朝礼後、業務開始です。まずは打合せの準備をします。



●10:00 【打合せ①】

お客様にヒアリングをしたり、プラン提案をしたりします。ご契約後のお客様とは、基本設計図、実施図面、電気、照明、仕様の打合せを行います。

●12:30 【昼食】

土日はゆっくり昼食がとれないので、コンビニのおにぎりやカップラーメンが多いです。昼食は30分くらいで済ませます。

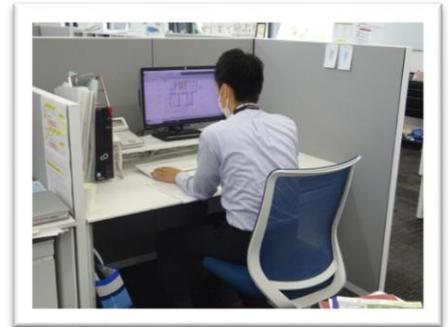


●13:30 【打合せ②】

2件目の打合せです。

●16:00 【打合せ内容の整理】

2件の打合せ内容をまとめ、外部への依頼事項があれば早めに行います。6件くらい同時進行で進んでいるので、後から打合せ内容がわからなくならないように記録して、議事録をまとめるのはとても大切です。



●18:00 【退勤】

家族サービスのため、日曜日は定時で帰るようにしています。



(4) むらやまでの暮らし編

——休みの日には何をしていますか。

子供が二人いるので子供の面倒を見ているか、あるいは子供を保育園に預けているときは、その間にいろいろな用事を済ませています。



——子供が生まれてから仕事への取り組み方に変わったところがありますか。

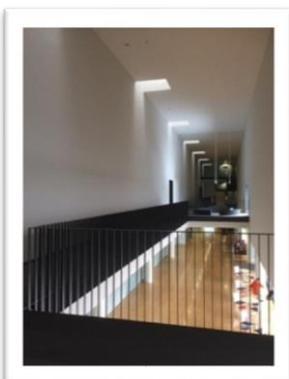
結婚する前は、仕事が終わる時間がある程度遅くても何とかこなったんですが、子供がいると世話であったり、保育園に行かせたり、いろいろ準備だったり家庭のウエイトが増えて、前のように好きなだけ仕事ができる状況でもなくなってきました。

うちは共働きなので、時間の使い方を調整しないと妻に負担をかけるだけになってしまいます。時間をうまく使わないと早く帰れないので、無駄な時間をどう無くしていくか、短い時間でどう成果を上げていくかを考えるようになりました。

——自宅は自分で作ったのですか。

そうですね。結婚を機に家を新築しようと考えていたので、子供ができる前に家を計画して建てました。お客様との家づくりでも、新築を建てた実体験をもとにした説明だと説得力が出ると思うので、それを経験できたのは大きいのかなと思います。

——自分でこだわりの家を作れるのはうらやましいですね！大場さんはいつから建築が好きなんですか。



いつからか覚えていないくらいですね。高校に行く頃には建築士になろうと思っていたので、たぶん中学ぐらいから建築の道に行こうと思っていたのかなと。就職活動のときも他の業界を見たことはないで、中学の時からずっとこの業界にはまっている感じです。

建築は趣味でもあって、本を見てカッコいい建物をながめたり、大学ときには建築学科の友人と夜行バスで有名な建築を見に行ったりしました。山形で好きなのは村山市にある甕葉プラザですね。趣味

を仕事にするのかという問題がありますが、好きだから仕事にしていこうとなって、嫌にならずに今に至ります(笑)。

(5) まとめ編

———今後の目標について教えてください。

私は今 10 年目で中堅に入って、いろいろ考えるようになりました。若手のときはとにかく先のことを考えずがむしゃらにやってきたんですが、今は年上の上司と若手のちょうど間にたつポジションになって、設計だけではなく営業や現場監督の間に入って仕事をしなければいけなくなりました。今までは自分の仕事でお客さんに喜んでもらうことだけを考えてやってきましたが、10 年たつとそれだけではだめで、若手の指導とか会社の成長のための役割を果たさなければいけないなと感じているところです。

仕事としては、建築士として常に成長していきたいので、お客様の高い要望を超えるような提案をしていきたいと思います。お客様以上にインスタグラムや雑誌を見て勉強しています。それに一級建築士を持っているので、木造だけではなくて鉄骨の建物とか、一級建築士として恥ずかしくないようさらに上を目指していきたいなと思っています。日々勉強です(笑)。

———現在、就職活動を行っている人にメッセージをお願いします。

私が就職活動をしたのは 10 年前になりますが、いろいろな会社にエントリーしました。有名な全国区の会社から、小さな工務店までとにかくたくさん。たくさん受けると、小さい会社でも面白い会社があったり、逆に大手でも面白い仕事ができないんじゃないかと思うところがあったり。必ずしも大きい会社がいいわけではなくて、フラットに話を聞いてみて、その中でこの会社ならうまくやっていけそうだというイメージができる会社がいいと思います。

それに、会社に採用してもらおうという意識ではなく、対等に自分も選ぶという感覚をもっておくと、働き始めた後もいいのかなと思います。いろいろな会社を見て、肌が合う会社に出会えるといいですね。

———ありがとうございました！

ウンノハウスはとてもきれいな職場で、働いていてワクワクするような環境だと感じました。大場さんは、質問に丁寧に答えてくださり、とても真摯な方でした。その姿勢からは、お客様はもちろん多くの人と協力しながら仕事を進めるために、日々コミュニケーションに気を使っていることが伺えました。会社に入っても努力は大事だと思いました。

【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 草木啓汰、須田瑛大、佐藤玲美】

株式会社ウンノハウス

★「美しいふるさとをデザインしたい」という想いを胸に、お客様にとことん寄り添う住宅会社です

- ・ 創業60年余り。地元山形を起点に、南東北3県のお客様にとって一番よい住まいを提供する、地域密着企業です。
- ・ 私たちの家づくりは、お客様の要望をすべて汲み、一緒にゼロから作り上げていく、そんな大きな感動に満ちた仕事です。
- ・ 社員の育成に力を入れており、成長できる環境があります。

★やまがた健康企業宣言登録

- ・ 所在地 山形市大野目4丁目1番37号
- ・ 設立 昭和34年2月
- ・ 従業員数 226名（男性146名、女性80名）
- ・ URL <https://unnohouse.co.jp>

